

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふれんどクラブたんぼぼ		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～ 令和8年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～ 令和8年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースが広い。	あそか会館等のスペースを使用した活動の設定を行っている。	広さは十分であるが、認知課題等を行う際はお子さんが集中して取り組めるよう、スペースを狭くする等の対応を行っていく。
2	利用児の状態に合わせた支援プログラムの作成。	高校生に対しては就労に向け、必要と思われる暗算やひっ算、または指先の機能の向上等に取り組んでいる。	課題内容の充実を図る(手指機能や人との関わり、身体作り等)
3	SNS等で事業所で取り組んでいる内容を外部に発信している。	令和7年9月よりInstagramを開始した。事業所で取り組んでいる日々の活動を発信し、保護者さんに様子を知って頂いている。	保護者さんが知りたい情報を共有し、投稿内容を充実させていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流がもてていない。	学校から事業所に登所すると16時頃になってしまうため、交流する難しさがある。長期休暇時も所外での活動が多いため、難しい状況にある。	あそか会館等を使用する活動の企画を立て、近隣の事業所に声をかけて交流していく。
2	利用児の安全を確保するための周知が弱い。	火災、地震等の災害時の避難訓練、不審者への対応訓練等の様子を発信できていない。	SNSで発信する。避難訓練時の写真を展示をする。保護者懇談会等で報告する。
3	長期休暇中に行っている親子行事の参加率が低い。きょうだい向けのイベントの開催ができていない。	行事内容に魅力がないのか。きょうだい向けのイベントの開催	親子行事についてのアンケートを実施する。あそか会館の開放等を検討していく。